

『青の誘惑』

海の中に入り替っていくと世界がガラッと変わります。地球は人間が主役みたいな錯覚の中で僕たちは生きているのですが、海の中に入ると人間は単なるゲスト、主役は海の生物たちですね。そうした海には語りつくせない魅力があり、僕はそれをダイビングという趣味で感じ取ることが出来ました。あ、申し遅れました。川西おの小児科・アレルギー科の院長、北尾 哲也(またお てつや)です。今回は僕の趣味の一つ、ダイビングについてご紹介したいと思います。

海草に絡ねてしまうと見つけにくい、魚とは思えない見た目の「タツノオトシゴ」や泳いでいる姿も愛くるしい「海ガメ」、日本ですと沖縄の穏やかな海に生息する「コバシメ」というイカ(意外と高級!)、見た目はギョウギみたいですがよーく見ると愛くるしい「ウツボ」が僕の好きな海の生き物たちです。もちろん、子供たちが大好きなニモやドリーも大好きで、実際、ダイビング中に遭遇した事もあります。可愛いですよね〜でも、水槽の中で見る彼らと大海原で生きている彼らとは似て非なるもので、やはり自然の海の中で自由に生きる海の生物はどこか生き生きとしていて自分自身、元気をもらいます。

2011年(オープンウォーター)から12年(アドバンスドオープンウォーター)にかけて取得したダイビング免許を手に色々な海に出掛けました。沖縄の如護、新潟の佐渡、和歌山の白浜、オーストラリアのグレートバリアリーフ、そして「おの先生」大好きなタイ王国のバタヤなどなどで潜りました。それぞれの場所にそれぞれの魅力があって、もちろん住んでいるお魚の種類も違います。でも、共通して言えることは、ダイビングというマリンスポーツは自由に泳ぐというより何だか「空を飛んでいる様な感覚」になれる、ダイビング中に上を見上げた際に「太陽の光を浴びた海の水の美しさ」を体感できることが酉酉趣味ではないかなと思っています。

また、写真も大好きな僕は愛用のオリンパスの水中カメラを片手に、先に書きましたカメラや魚の写真をダイビング中は夢中になって撮影しています。ダイビングが終わり、陸に上がってその写真を眺めているとまた直ぐにでもダイビングをしたいなあ〜と思うわけですね。そんな心地よいスパイラルがダイビングにはあると思っています。きっとダイビングは飽きる事のない一生の趣味になると思っています。皆様の趣味は何ですか?それ

またクリニックで教えてください!

これからも行きたい場所は山ほどありますが、とりあえずは太平洋上に浮かぶ島国であるマーシャル諸島の戦艦長門(ながと)レック(沈没船)ダイビングにでかけてみたいなあ。この沈没船は水深約50mくらいに沈没しているようで、船は上下逆さまになっている姿を写真で見ました。上級者のダイビングスポットと言われている場所ですが、絶対に行こうと決めています。次は中南米カリブ海にあるベリーズ、1981年にイギリスから独立した小さな国、そこにあるブルーホールダイビングに出掛けたいですね。そのブルーホールは直径300m、深さ120mくらいある大きな穴、その壁は鍾乳洞で出来ているようです。その鍾乳洞の壁は40m弱潜ると出てくるようで、今、その写真を見ながらやや興奮気味に書いています。このブルーホールはダイビングと空からの眺めの両方を楽しみたいなあ〜空からの眺めはセサナ機観光で見ることが出来るようです。ブルーホールのブルーは本当に濃い青で、今まで見たことがないような青、きっと自然でしか出来えないんだらうなと僕は思っています。マーシャル諸島やベリーズ、行かれたお父様、お母様がいらっしゃいましたら教えてください。それ以外のダイビングスポット、ダイビンググッズ、オススメのショップさんも教えてください。診察室や待合室で教えてください!

皆様の海、お好きですか?僕はこういった理由で海が大好きです。

(つづく)



川西おの小児科・アレルギー科 北尾 哲也

☎072-756-7177

【川西おの小児科・アレルギー科】 <https://kawanishi-shounika.jp>

【医療法人 おの小児科メインHP】 <http://www.onokidsclinic.jp>

穏やかな性格、好きな動物はカメレオン、
鳥に変身して大空を飛んでみたい